

誰でも手軽に始められる

# 収集ボランティアに参加しませんか

## 広報やちよ女性版

公募して選ばれた編集委員が No.118  
企画・構成・編集するページです。  
編集委員 関口 理子・高松紀美子  
夏戸 夕起



意識しなければごみとして捨ててしまう「ペットボトルキャップ」や「ベルマーク」、「使用済み切手」。実は、こつこつ集めてボランティア団体に送ることで社会貢献になるんです。誰でも手軽に始められるこの「収集ボランティア」に興味を持った私たちは、これらの集めた物を回収・整理・換金して福祉や教育に役立てている市内の3団体を取材しました。

### ペットボトルキャップ 八千代GONET

ペットボトルは資源物として回収されていますが、キャップは収集運搬や処理作業にかかる費用などを考慮し、可燃ごみとして回収・処理されています。ところが、ペットボトルキャップも資源として生まれ変わることができます。ごみ減量やリサイクル推進を啓発するため、独自でペットボトルキャップを回収・換金し、教育委員会やユニセフに寄附している八千代GONETキャップメイトを取材しました。

### ■キャップ回収の流れ

飲料用のペットボトルに付いているキャップが回収できます。海外のものや、色付きのものも回収できますが、キャンペーンなどのシールをはがしてから入れてください。



金属製のフタは、回収していません。市の資源回収へ。

ある程度たまるまで保管

回収箱へ

回収箱は市役所1階や、ふれあいプラザに設置してあります。ご協力をお願いします。



▲代表の唐澤さん



右の写真のフレコンパックいっぱい(約200キログラム)になるまで保管します。



200キログラム以上になったら業者へ



1キログラム10円で引き取られ、半分は教育委員会へ、もう半分はユニセフに寄附します。

キャップは木更津にある千葉県エコプラント工場で細かく砕かれ、建築資材となります。

### インタビュー

代表の唐澤みどりさんにインタビューしてきました。



▲やっち

記者

GONETの名前の由来はなんですか？

「ごみゼロネットワーク千葉21」の略称です。「自分のできることをできる範囲でやる」というのがモットーで、メンバーのそれぞれができる範囲で啓発などのごみ減量活動を行っています。

唐澤さん

記者

どのようなものが「ごみ」だと考えていますか？

現在、多くの物がごみとして出されていますが、私はリサイクルできないものがごみだと思っています。リサイクル運動が広がっていけば、ごみの量は減っていくはずですよ。

唐澤さん

記者

キャップは、月にどのくらいの量が集まりますか？

時期によって違いますが、夏場は月180キログラム程度(約8万個)、冬場は月100キログラム程度が集まります。200キログラム以上たまったら業者に1キログラム10円で引き取ってもらえます。

唐澤さん

記者

換金したお金はどのように活用していますか？

八千代GONETでは半分を教育委員会に、もう半分をユニセフに寄附しています。

唐澤さん

記者

今後どのように活動を進めていきたいですか？

こういった活動は継続していくことが大切だと思っているので少しずつでも続けていきたいです。また、小さい頃から環境保護について興味を持ってもらえるよう、子どもたちの環境学習の手助けなども進めていきたいです。

唐澤さん



関口記者

ごみと思っていたものがお金になり、人の役に立つものになる。ペットボトルキャップのリサイクルに関して、このような形で市民が活動していることを初めて知り、行動することの大切さを実感しました。今まで、なんとなく集めてリサイクルしていたキャップですが、その回収金が地域の教育に役立ち、ごみの減量にもつながることが分かったので、私も継続して協力していきたいと思いました。